

かわじま 教育

KAWAJIMA EDUCATION

教育要覧

令和6年度

共に学び 絆を深め 未来を拓く かわじま教育

主な内容

- I 町の概況 … 5
- II 教育行政及び学校教育 … 9
- III 生涯学習 … 37
- IV 社会教育 … 43
- V 教育関係役職員 … 55

- ① つばさ南小学校
- ② つばさ北小学校
- ③ 生涯学習



はじめに

町民の皆様におかれましては、町教育行政の推進にご理解・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も昨年の５月に感染症法上の位置付けが５類相当に変わり、教育活動も感染拡大前の状況にだいぶ戻ってまいりました。しかし、この間、学校行事等の精選や、ＩＣＴ等を駆使しての授業改善、働き方改革など不易の部分は残しつつ、時代の流れと共に改革していかなければならない部分も明確になりました。今後も引き続き、子供たちの「輝く瞳、あふれる笑顔、光る汗」を大切にした教育のために尽力してまいります。

なお、この令和６年度教育要覧『かわじまの教育』は、本年度の教育行政推進に係る各種資料やデータを網羅しています。様々な場面でご活用ください。

「学校教育」では、来年度（令和７年度）から町内の小中学校においてスタートする小中一貫教育に向けた準備を進めております。小中一貫教育は、小学校から中学校までの９年間の教育課程を一貫し、学習指導の連続性を確保することが大きな特徴であり、効果が期待されるものです。また、児童生徒の成長や特性を長期に渡って見届けることで、個性の伸長や下級生への思いやり・上級生へのあこがれを育むことが期待できます。

また、これからは「解の無い時代」と言われており「主体的に学び続ける子の育成」が求められます。そのために、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養（以上は、「生きる力」を三つの柱に整理したもの）を大切にした教育活動の推進に努めてまいります。

「生涯学習・社会教育」では、４月２０日（土）に「第３７回郷土芸能祭」を一日開催いたしました。郷土芸能である万作踊りや民踊の保存団体のほか、川島町指定無形民俗文化財である飯島囃子連、角泉囃子連にも参加していただき、盛大に実施出来ました。また、６月１６日（日）には青山学院大学陸上競技部長距離ブロック監督の原 晋（はら すすむ）氏にご講演いただき、町民会館が満席になるほどの賑わいぶりでした。

また、公民館から地域活動センター（仮称）への移行に向けた準備も進めてまいります。本町におきまして、少子高齢化が進み地域コミュニティの推進や地域行事の維持が難しくなっております。そのような中で、住民の皆様方が主体となり、地域の活性化が図れるよう行政が活動を支援してまいります。

昨年度に引き続き「学び・支え合いながら全ての人々のウェルビーイングを実現する生涯学習」を目指し、その実現に尽力してまいります。

教育委員会は、子供たちや町民の皆様が生き生きと学び、この川島町を誇りと思えるような教育行政の推進に、さらに力を注いでまいります。

令和６年８月

川島町教育委員会教育長 関口 敬氏

川島町民憲章

(昭和五十九年十一月三日制定)

わたくしたちのかわじまは 古く成り立ちの
とき以来 住民の結束により発展してきました
わたくしたちは このかわじままちをこよな
く愛し 教養を高め スポーツに親しみ いっ
そう住みよいまちにするため ここに町民憲章
を定めます

一 かわじまを守る堤は

心のきずな

一 かわじまを生かす

きれいで豊かな自然

一 かわじまを築く力は

働くこの手

一 かわじまの伝統受け継ぎ

創ろう文化

一 かわじまの宝だ

伸ばせ子供たち

川島町スポーツ都市宣言

(昭和五十二年一月十六日)

わたしたち川島町町民はスポーツを愛し、
スポーツを親しみ、スポーツを通じて、よ
り健康の増進を図り、よって住みよいふる
さとを建設するため次の目標をかかげて、
ここに「スポーツ都市」を宣言いたします

一、町民すべてがスポーツを楽しみ実践
しよう。

一、力をあわせてスポーツのできる場と
環境を確保しよう。

一、スポーツを通じて社会連帯感の高揚
を図るため、地域にも職場にもスポ
ーツの場と機会をつくろう。

生涯学習推進のまち宣言

わたくしたち川島町民は

生涯にわたり健康で楽しく学び合い

思いやりと心のきずなを大切にし

仲良く助け合う家庭をつくり

明るく心豊かな人生が送れる

ふるさと文化の香るまち「かわじま」の実現をめざします

町制20周年にあたり

「生涯学習推進のまち」とすることを宣言します

平成4年11月3日

川島町平和都市宣言

四方を川に囲まれた豊かな自然の中で、安らぎに満ちた平和な日々を送ることが、川島町民すべての願いです。

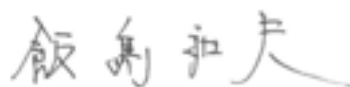
しかしながら、今なおこの地球上では、戦争や悲惨な争いなどにより多くの尊い命が奪われています。

私たち川島町民は、戦争の惨禍が繰り返されることがないように、次世代にも平和な尊さを訴え続けていかなければなりません。

私たち川島町民は、美しい郷土、恵まれた自然、豊かな生活を、未来を生きる子どもたちに継承していくために、町民の心を一つにして平和への誓いを新たにし、ここに「平和都市」を宣言します。

平成30年10月1日

川島町長



I 町の概況

川島町の概況

1 地勢

川島町は埼玉県ほぼ中央に位置し、北は市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41.63km²で、東西間11.17km、南北間7.9kmの距離となっています。標高は平均14.5mで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子がかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。

江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

そして、昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・八ツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生しました。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行し、令和4年に町制施行50周年を迎えました。

現在は、圏央道が町の中央を東西に走り、また、圏央道川島インターチェンジ周辺では開発が進み、活力ある元気な町に変わってきています。



北	緯	: 36° 01' 11"
東	経	: 139° 32' 43"
東	西	: 11.17km
南	北	: 7.9km
平均標高		: 14.5m
面	積	: 41.63km ²

・町の木：もくせい

もくせいは常緑樹です。花は秋に咲き、よい香りを漂わせてくれる昔から親しまれている木です。



・町の花：はなしょうぶ

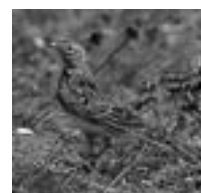
水田地帯である本町に多く植えられ、愛好されています。初夏には、紫・白・紫紅の大きな花をつける、繁殖力のあるアヤメ科の代表的品種です。



・町の鳥：ひばり

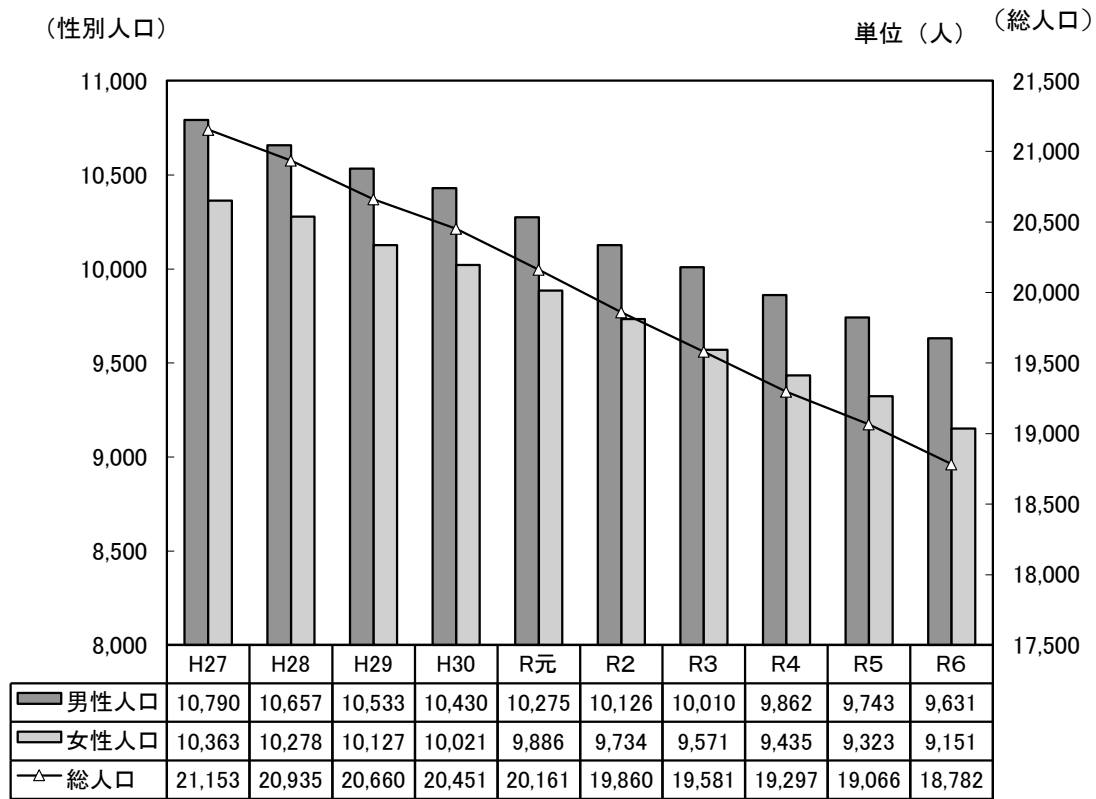
早春に、にぎやかにさえずりながら麦畑を空高く舞い上がるさまは、川島の春の風物詩ともいえます。

ひばりは“あげひばり”ともいわれ、縁起のよい鳥といわれています。



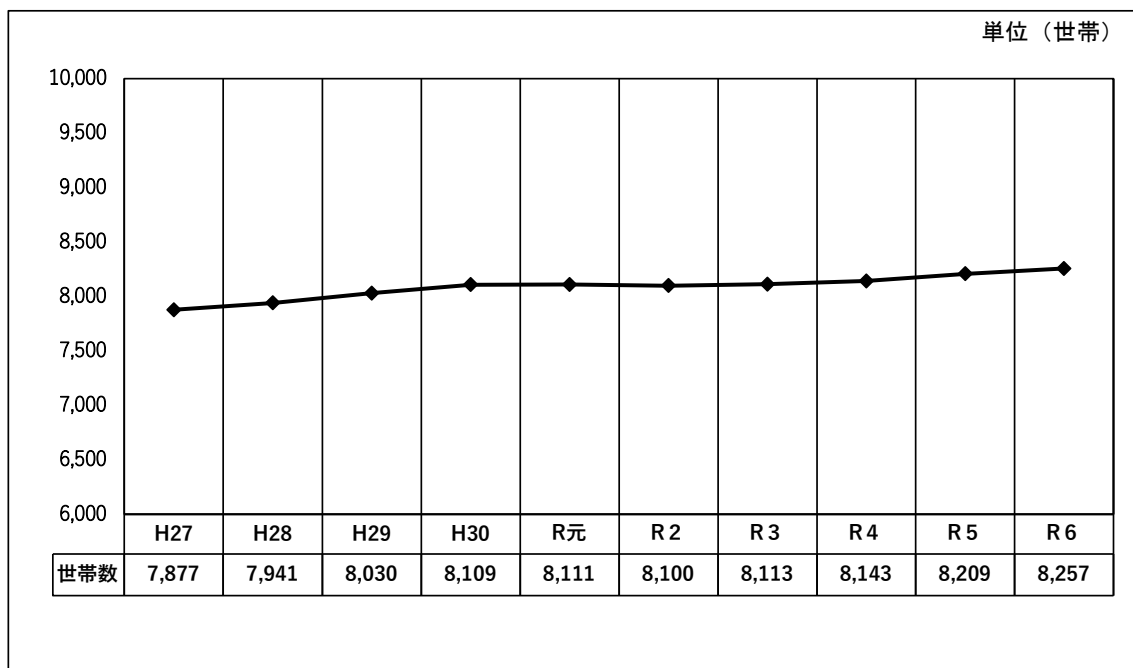
2 町の人口の推移

各年5月1日現在

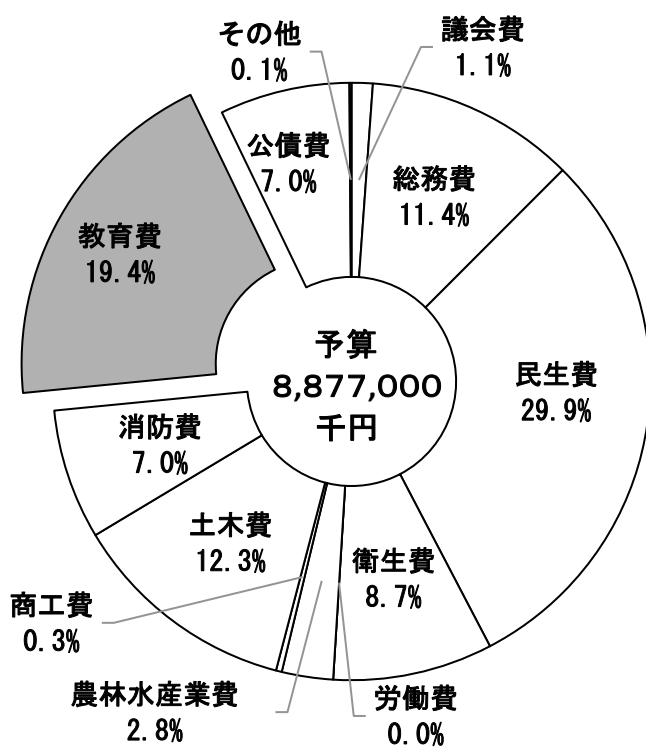


3 町の世帯数の推移

各年5月1日現在



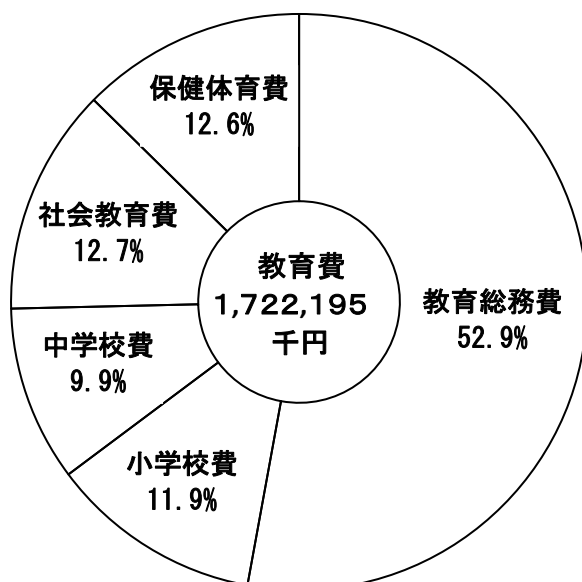
4 町の予算（令和6年度当初）



（単位：千円）

議会費	101,101
総務費	1,007,785
民生費	2,649,143
衛生費	767,984
労働費	191
農林水産業費	245,453
商工費	28,511
土木費	1,093,940
消防費	625,684
教育費	1,722,195
公債費	625,007
その他	10,006
計	8,877,000

5 教育費の内訳（令和6年度当初）



（単位：千円）

教育総務費	910,611
小学校費	205,042
中学校費	169,731
社会教育費	219,352
保健体育費	217,459
計	1,722,195

Ⅱ 教育行政及び学校教育

川島町教育委員会

【教育委員会】

教育委員会は、地方教育行政の組織運営に関する法律に基づき、町の教育に関する事務を処理するため、市町村等に設置される合議制の執行機関です。

町長が議会の同意を得て任命した教育長と委員４人で構成されており、学校教育、生涯学習、文化財、文化・スポーツの振興などの分野において教育行政を一体的に推進する役割を担っております。

教育委員会の会議は、原則として毎月１回開催される定例会と教育長が認める時、または２人以上の請求により開催される臨時会があります。

会議では、・「教育行政の運営に関する基本的な方針及び計画の決定に関すること」

・「学校その他の教育機関の設置等に関すること」

・「教科用図書の採択に関すること」

・「教育委員会規則等の制定または改廃を行うこと」

などを教育長及び教育委員の合議により決定いたします。

【教育長及び教育委員会委員】

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有するもののうちから、町議会の同意を得て町長が任命し、任期は３年です。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して職権を有する者のうちから、町議会の同意を得て町長が任命し、任期は４年です。

(敬称略)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	関口 敬氏	令和 ５年 ４月 １日～令和 ６年１０月 ３日
教育長職務代理者	磯 賢司	令和 ２年１０月 １日～令和 ６年 ９月３０日
委 員	猪鼻 昌江	令和 ３年１２月１８日～令和 ７年１２月１７日
委 員	天宮 弘	令和 ５年 ４月 １日～令和 ９年 ３月３１日
委 員	猪鼻 和美	令和 ５年１０月 １日～令和 ９年 ９月３０日

川島町教育行政重点施策

川島町教育委員会では、「川島町教育大綱」（令和３年度～令和７年度）に掲げられた教育の基本理念及び５つの基本目標の実現に向け、令和６年度の『川島町教育行政重点施策』を定めました。

令和６年度は、個別最適な学びの実現のために、ＩＣＴを効果的に活用した授業の更なる充実を図ります。

また、これまでの「学力の向上」を目指した教師の指導力向上に継続して取り組むとともに、令和７年度の小中一貫教育校開校を目指し、準備を進めます。

さらに、SDGsの視点を取り入れた教育活動の質の向上に、町として取り組みます。

生涯学習においては、川島町らしい豊かな生涯学習社会の実現に向け、新しい時代にふさわしい、生涯学習、生涯スポーツの多様な学習・活動機会の充実とともに、子供から高齢者までが様々な活動を通して交流することができる、地域活動センター（仮称）の検討を推進するとともに地域の様々な課題を解決する社会教育の充実を図り、生涯学習の推進体制の構築に取り組みます。

● 教育の基本理念 川島町教育大綱より ●

「共に学び 絆を深め 未来を拓く かわじま教育」

● 教育の基本目標 川島町教育大綱より ●

- 1 質の高い学力と新たな時代を生き抜く力の育成
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 質の高い学校教育を推進する教育環境の整備・充実
- 4 生涯学習のまちづくりの推進
- 5 地域の様々な課題を解決する社会教育の充実と伝統文化の継承

●令和6年度 重点目標●

- Ⅰ 新たな時代を生き抜く力を育む学校教育の推進
- Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成
- Ⅲ 子供たちの学びを支える教育環境の充実
- Ⅳ 新たな生涯学習の推進体制の探求
- Ⅴ 社会教育による多様な学びの充実と伝統文化の継承

川島町教育委員会

グローバル化の進展や人工知能（ＡＩ）の飛躍的な進化など、新たな時代に対応するための論理的な思考力や問題を解決する能力を培うために、主体的・対話的で深い学びの授業をさらに推進してきます。

特に、グローバル化が進行する社会において、未来を拓くための創造性やチャレンジ精神、多様な他者と交流できる語学力・コミュニケーション能力を育みます。

●重点施策と主な取組●

1 時代の変化に対応する教育の推進

（１）新学習指導要領の着実な実施

- ◇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ◇社会科副読本（小学生）の作成

（２）GIGAスクール構想の実現

- ◇ICTを効果的に活用した授業の実践
- ◇個別最適な学びの実現【新規】
- ◇SDGsによる教育活動の質の向上【新規】

2 学校管理運営の改善・充実

（１）人事評価制度の活用による教職員の資質・能力の向上

（２）コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進

3 学力の向上と指導方法の工夫・改善

（１）全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査、川島町学力確認テストの実施と結果の分析による授業改善の推進

（２）学力向上を目指す指導方法の工夫・改善の推進

- ◇川島町「授業スタンダード」の定着【新規】

4 「英語の町」を目指した英語教育の推進

(1) 英語教育充実事業の実施

◇ALTによる英語体験教室「英語村」の充実（対象：5・6年生）

◇英語シャワーデーの実施（全小中学校で実施予定）【継続】

※1校にALTが集まり、英語に集中的に触れるイベントを実施。

◇近隣大学との連携による学生ボランティアとの英会話体験【新規】

(2) 英語検定受験推進事業の実施

◇中学生英語検定受験料を負担（年2回、2級まで）※私立含む

◇小学生英語検定受験料の負担（年2回、3級まで、対象：5・6年生）

※私立含む

◇ALT派遣業者による「英語検定取得支援講座」の充実

Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

豊かな人間性や社会性を身につけるため、学校・家庭・地域が相互に連携・協働して道徳教育や自然体験・社会体験などの充実を図ります。

特に、様々な環境にある子供たち一人一人が、その能力と可能性を開花できるよう教育相談体制の充実を図り、子供たちを全力で支援します。

また、生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康・体力づくりを目指し、規則正しい生活習慣や体力の向上を図ります。

●重点施策と主な取組●

1 豊かな心を育む教育の推進

(1) 道徳教育の推進

◇学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進

(2) 人権を尊重した教育の推進

◇「人権感覚育成プログラム」の活用の推進

◇性の多様性を考慮した性教育の充実【新規】

(3) 豊かな体験活動の推進

◇埼玉県・埼玉大学・木づかい子育てネットワークとの協力連携による木育推進事業の実施（中山小学校、伊草小学校）

◇企業と連携した教育活動の推進

◇キャリアパスポート※（わたしの志ノート）の活用支援【継続】

◇災害対応を含めたボランティア活動の推進【継続】

※総務課防災対策室と連携した防災教育を実施。

2 いじめ・不登校対策の推進

(1) 教育相談体制の充実

◇さわやか相談員、まなびのサポートセンター相談員、SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携強化

◇メタバースによる不登校対策【新規】

◇中学生学校生活等意識調査(hyper-QU～よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)に係る補助事業の実施

3 健康づくりとスポーツの推進

(1) 子供の健康保持・増進

- ◇学校給食を活用した食育の推進
- ◇フッ化物洗口によるう蝕予防対策

(2) 体力向上の推進と学校体育の充実

- ◇民間スイミングスクールと連携した小学校水泳授業指導
- ◇部活動(中学校)地域連携の推進
- ◇体力向上推進委員会による研究並びに授業研究会の実施
- ◇外部指導者による運動部活動の充実

個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、9年間の学びと育ちの連続性を重視した小中一貫を見据えた教育を推進するとともに、ICTを活用した教育の更なる充実を推進します。

全ての子供たちが個に応じた教育が受けられるよう、指導方法や指導体制の工夫・改善、特別支援教育の充実を図ります。また、「川島方式子供学習支援システム」を継続し、学力の更なる向上を目指します。

特に、最大の教育環境である教師が学び合い、高め合うことで資質・能力の向上を図るとともに、家庭・地域と連携し教育環境の充実を図ります。

●重点施策と主な取組●

1 時代の変化に対応した教育環境の整備

(1) 小中一貫教育推進

◇小中一貫教育校（低学年棟）の建設

◇統合協議会（①校名・通学部、②総務・教育部会、③PTA・後援会等部会）の設置

(2) GIGAスクール構想に対応した教育環境の充実

◇児童生徒1人1台学習用端末活用の環境充実

◇児童生徒用デジタル教科書の更なる導入と活用・研究

(3) 安全で快適な学校施設等の整備・充実

◇西中学校体育館アリーナLED化事業（工事）【新規】

◇川島中学校体育館フロア改修事業（工事）【新規】

2 教職員の資質・能力の向上

(1) 個別の教育的ニーズに応えることができる教員の育成

◇全教職員対象の特別支援教育に関する研修の実施

◇特別支援教育の視点を生かした授業・学級経営の推進に関する研修の実施

◇個別の教育支援計画・指導計画の作成と活用の推進

(2) 信頼関係に基づく生徒指導・教育相談が進められる教員の育成

◇児童生徒理解に基づく生徒指導の推進に関する研修の実施

(3) 教師の指導力・授業力の向上

- ◇全教職員研修会の実施（学力向上・小中一貫教育の推進）
 - ◇学校指導訪問によるきめ細やかな指導支援の実施
- ◇川島町立小・中学校「学び合い交流事業」の実施【継続】

(4) 教職員倫理の確立

- ◇各学校における倫理確立委員会の充実を目指す研修の実施

3 学力向上のための基盤整備

(1) 「川島方式子供学習支援システム」による学力向上の推進

- ◇基礎学力向上事業
 - ・家庭学習ノートの作成・配付と活用の充実
 - ・川島町 CRT 学力確認テストの実施（1 月）
 - ・比企地区学力テストの補助
- ◇小学生日本語検定受検推進事業
- ◇私塾と連携した通塾支援事業
- ◇放課後児童クラブ学習支援事業
- ◇外国人児童・生徒支援事業

4 すべての子供の学びの保障

(1) 就学支援の充実

- ◇育英資金貸付事業
- ◇奨学金利子助成事業
- ◇自転車総合保険加入事業
- ◇新中学校 1 年生自転車通学用ヘルメット支給事業【継続】

(2) 児童・生徒一人一人を大切にする教育の推進

- ◇通級指導教室の整備・充実（小中各1校設置）
- ◇まなびのサポートセンターの整備・充実
- ◇児童生徒支援員の配置（全小中学校設置）
- ◇就学相談、就学支援委員会の充実
- ◇幼保小連携事業の推進

5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

(1) 防犯教育・安全教育・防災教育の推進

- ◇家庭・地域と連携した学校安全体制の整備（立哨指導体制の見直し）
- ◇交通安全教室及び防災教室の充実
- ◇防災教育及び防犯教室の充実

(2) 家庭教育の充実

- ◇「家庭生活の約束6か条」及び「ノーテレビ・ノーゲームの日」の推進
- ◇「彩の国教育の日」及び「彩の国教育週間」の取組の充実
- ◇幼・保・小の連携強化

(3) 「学校応援団」の充実

- ◇学校応援団活動に対する支援の充実

(4) 部活動（中学校）地域連携の推進【新規】

- ◇部活動（中学校）地域連携の推進

(5) 放課後児童健全事業の充実

- ◇放課後児童健全事業（学童保育）の充実

生涯を通じて学び・活動する楽しさを発見し継続できるように環境を整えます。

特に、コミュニティづくりの拠点となる「地域活動センター（仮称）」の設置に向けた検討を行います。また、「地域学校協働活動」により、地域全体で子供を育て、地域を「げんき」にする活動の充実を図るとともに、「総合型地域スポーツクラブ」を中心としたスポーツの活性化を図ります。

さらに、社会教育施設の修繕や工事を実施することで、利用者の利便性の向上を図り、各種団体の活動支援を推進します。

●重点施策と主な取組●

1 生涯学習の推進体制の再構築と実践

（１）「地域活動センター（仮称）」設置に向けた検討

◇川島町地域活動センター（仮称）検討委員会の実施

◇先進事例地の視察・情報収集

（２）地域学校協働活動（地域ゆめ・みらいづくり事業）の実践と研究

◇地域学校協働活動「地域ゆめみらいづくり事業」の実践

◇近隣大学との連携による学生の参画と内容の充実

◇学校運営協議会との連携による活動内容の充実

（３）総合型地域スポーツクラブと連携した活動の充実

◇魅力的なスポーツイベントの実施

・中学生の部活動支援に資する内容の実施

・総合型地域スポーツクラブの活動充実に資する内容の実施

2 活動・学習のための仕組みづくり

（１）新たな地域子ども教室の展開

◇地域学校協働活動と連携した地域子ども教室の実施

◇博物館等と連携した活動内容の充実

（２）町内中学校及び、近隣大学との連携強化

◇近隣大学との連携による各学習・スポーツ講座の充実

◇地域学校協働活動をプラットフォームにした学校・地域子ども教室・各種

地域団体との連携

◇学校運営協議会を核にした地域で子供を育てる仕組みづくりの実践

(3) 総合型地域スポーツクラブの運営支援

◇法人化に向けた支援

◇登録者数増加・運営安定化への支援

◇中学校部活動地域連携に資する支援

◇総合型地域スポーツクラブの種目メニューの増加への支援

3 施設利用者の利便性の向上

(1) 社会教育・体育施設のリニューアル工事

◇ふれあいセンターフラットピア川島照明器具 LED 化更新工事【新規】

◇コミュニティセンター空調設備更新工事【新規】

◇コミュニティセンター駐車場照明設置工事【新規】

◇緊急時対応修繕費の計上

(2) 町立図書館の利便性の向上

◇比企広域電子図書館の小中学校への導入【新規】

◇授業で使う並行読書用図書蔵書の充実と学校との連携強化

◇電子図書館サービスの普及と登録者数の増加

◇読書の記録通帳交付者の増加

◇学習者への支援機能のPRと相談・情報提供機能の充実

◇夏休み子供学習支援講座（宿題サポート）の充実

4 地区公民館・各種団体の支援

(1) 地区公民館のあり方研究と実践

◇地区公民館のあり方研究会の開催

◇地域活動センター（仮称）への移行について

(2) 各種団体の支援

◇スポーツ推進委員の資質向上に係る研修会の充実

◇スポーツ少年団・文化協会・スポーツ協会への事業助成の継続

◇外国人支援事業

自然災害、多文化共生、人口減少、少子高齢化、つながりの希薄化、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取り組みなどの長期的な視野に立った地域社会づくりを推進するために、社会教育の充実を図ります。

また、文化・芸術に親しむ機会を拡充するとともに、郷土資料展示室の有効活用により、文化財の保護・活用、および伝統文化継承への支援の充実を図ります。

●重点施策と主な取組●

1 知的好奇心を刺激する講座等の充実

（１）趣味・教養に関する講座

◇趣味に関する講座

◇教養に関する講座

（２）地域づくりに関する講座

◇地域の課題を解決するための学習講座・活動

◇防災の視点を取り入れた公民館活動や講座の実施の検討

◇食育講座の実施

（３）家庭教育に関する講座

◇親の学習の実施

◇「親子でチャレンジ」体験講座の実施

（４）文化・芸術に関するイベント

◇中央文化展の実施

◇生涯学習町民ふれあいフェスティバルの実施

◇ふれあいミニコンサート等の実施

（５）子供たちの豊かな読書体験の推進

◇「子ども読書活動の推進に関する基本計画」の策定に向けた検討【新規】

◇比企広域電子図書館の小中学校への導入【新規】（再掲）

◇読書の記録通帳の活用による貸出し冊数の増加

◇としょかん読書マラソンの充実

◇中高生POPコンテストの充実

(6) 子供の豊かな学習・体験活動の推進

- ◇科学実験教室・食育に関する教室など新規メニューの実施
- ◇旧小学校における子供の居場所づくりの推進

(7) 思いやりを育む人権教育の推進

- ◇平和都市宣言をふまえた人権教育の実施
- ◇「部落差別の解消の推進に関する法律」「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」の周知

2 生涯スポーツの講座・イベントの実施

(1) 健康づくり活動の講座

- ◇ラジオ体操を活用した健康づくりの推進【新規】
- ◇近隣大学と連携した体力測定事業の実施

(2) スポーツ講座・イベントの実施

- ◇スポーツ推進委員主導によるスポーツイベントの実施に向けた支援【新規】
- ◇総合型地域スポーツクラブと連携した魅力的なスポーツイベントの実施
- ◇総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室の実施

3 伝統芸能の継承への支援と文化財の保護

(1) 地域に根差した伝統芸能の継承への支援

- ◇伝統芸能団体への活動費補助事業
- ◇郷土芸能祭における伝統芸能団体（お囃子等）の発表

(2) 文化財の保護

- ◇古民具・写真の収集
- ◇既存文化財資料の整理

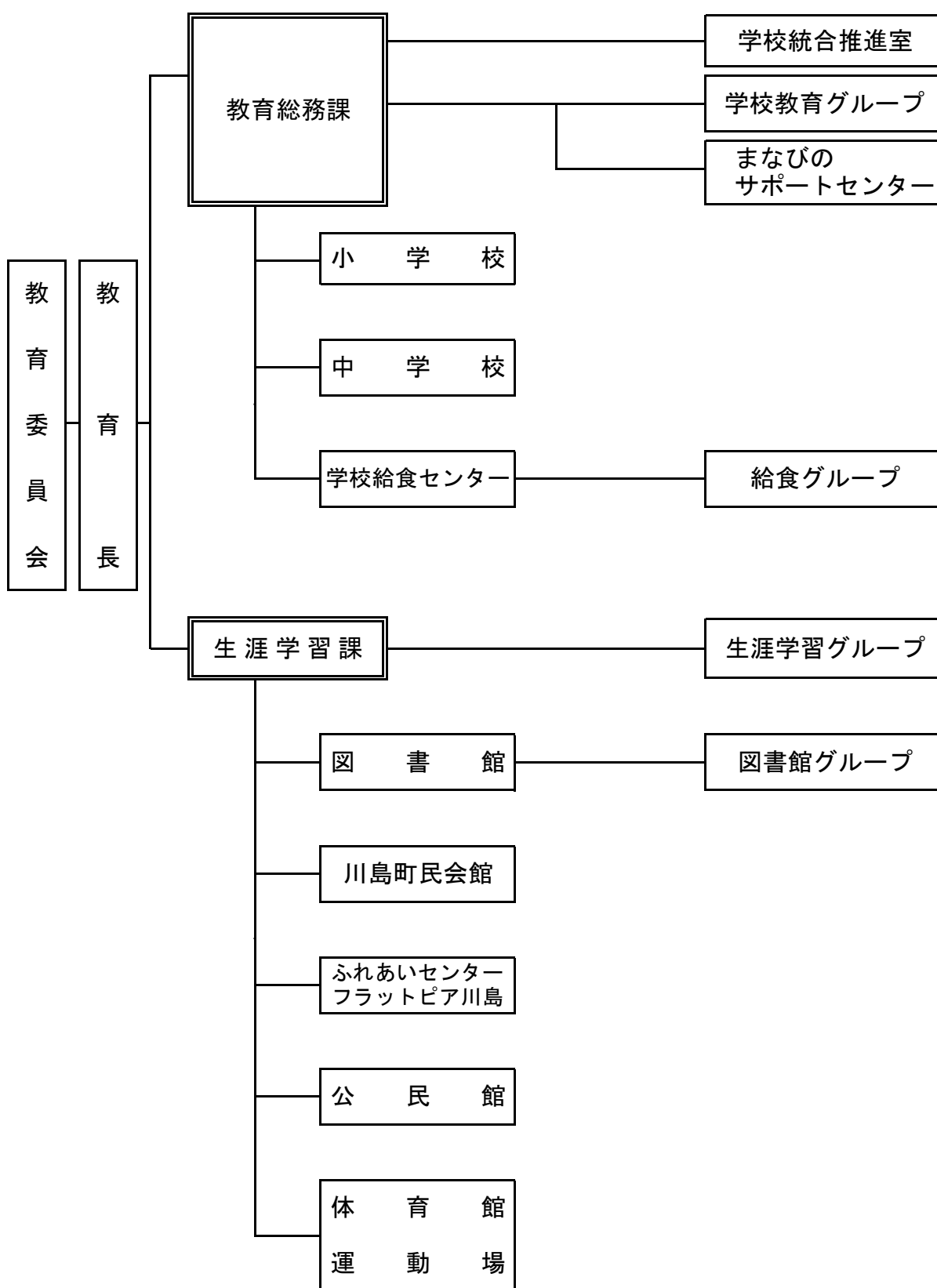
(3) 郷土資料展示室の充実と有効活用

- ◇小中学校と連携した郷土学習への支援
- ◇郷土学習講座の実施
- ◇郷土資料館展示資料の内容充実
- ◇町指定文化財を映像資料として保存と公開【新規】

教育委員会事務局 事務分掌

課 名	担 当 名	事 務 分 掌
教育総務課	学校統合 推進室	・学校統合の計画及び実施 ・学校の設置及び廃止 ・通学区域
	学校教育 グループ	・教育委員会の会議 ・予算決算の統括 ・規則の制定改廃
		・所管の調査統計 ・重要施策及び諸計画の調整
		・教育施設の使用 ・教育財産の総括管理 ・教育施設の営繕
		・教職員の人事・サービス・研修 ・生徒指導 ・学級編制
		・児童・生徒・教職員の保健及び安全 ・児童・生徒の就学援助 ・児童・生徒の就学
		・放課後児童対策
	給 食 グループ	・給食の調理 ・給食の運搬
		・食器の洗浄・消毒 ・給食施設、調理器具の管理
		・学校給食センター運営委員会の会議 ・給食費の徴収
		・給食材料の購入 ・給食材料の品質検査
		・給食材料の需要申請 ・物資納入業者の管理
		・献立作成 ・アレルギー対応
		・衛生管理指導 ・栄養関係諸報告
生涯学習課	生涯学習 グループ	・社会教育の企画調整 ・社会教育関係団体の育成指導 ・文化芸術の振興
		・生涯学習講座の開催・援助 ・社会教育施設・公民館の管理運営
		・文化財の保護、調査、保存管理及び活用 ・文化財の指定及び解除 ・文化財保護意識の醸成
		・人権教育の推進 ・人権教育指導者研修・育成 ・人権教育講演会、研修会の開催
		・生涯スポーツの推進 ・スポーツ教室の開催
		・社会体育施設管理運営 ・社会体育関係団体の育成指導
	図書館 グループ	・図書館管理 ・図書館サービス
		・資料の収集整理保存 ・読書普及

教育委員会事務局の機構



学 校 概 要

中山小学校

『やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい』の実現
～児童・保護者・地域住民・教職員が「つくる」学校～

校長 鈴木 和也 ・所在地 川島町大字中山1333
教頭 沼田 美穂 ・電話 049-297-0029
・FAX 049-297-8411



児童・学級数の現況

(令和6年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	28①	1
2年生	21②	1
3年生	25②	1
4年生	49③	2
5年生	30②	1
6年生	35②	1
特別支援学級	12	3
合 計	200	10

※丸数字は、特別支援学級児童

教 育 目 標	重 点
やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい (憧れ・夢) ・目を見て話を聞く子 ・めあてをもって学び、よく考える子 ・自分の思いや考えが言える子 やさしさいっぱい (感動) ・相手の目を見てあいさつ、よい返事ができる子 ・人のよさがわかり、誰にでも思いやりをもって接する子 ・気づき、考え、実行する子 元気いっぱい (チャレンジ) ・苦手なことにも挑戦する子 ・ねばり強く最後までやりとげる子 ・運動が好きで活動的な子	「『教えるべきこと』『育てること』を峻別し、指導にあたる」 (1) 学習指導 ①日々の授業改善 ②評価の客観性や信頼性の向上 ③ICT環境の活用 ④外国語活動の充実 ⑤プログラミング教育の推進 ⑥道徳教育の充実 ⑦特別支援教育の推進 ⑧家庭学習の定着 (2) 生徒指導 ①積極的な生徒指導 ②不登校(傾向)児童への対応 ③いじめの防止
学校研究課題	「互いの考えを認め、進んで伝え合う児童の育成」 ～ICT機器を活用した、協働的な学びを通して～

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 6 年 9 月	興風学校開校
明治 22 年 4 月	中山学校と改称
明治 25 年 4 月	中山尋常小学校と改称
明治 43 年 6 月	校舎新築
昭和 25 年 10 月	校舎新築
昭和 34 年 10 月	校旗、校歌制定
昭和 40 年 7 月	プール竣工
昭和 54 年 3 月	校舎改築、屋内運動場新築
昭和 58 年 2 月	校舎増築
平成 3 年 4 月	南校舎新築
平成 11 年 10 月	校舎、体育館大規模改造及び耐震補強工事
平成 18 年 3 月	校舎西・体育館側防球ネット設置
平成 19 年 2 月	校舎北側東西門扉改修工事
平成 20 年 9 月	校舎北側駐車場改修工事
平成 22 年 2 月	デジタルテレビの設置・太陽光発電設備設置
平成 23 年 9 月	普通教室エアコン設置
平成 25 年 9 月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 26 年 9 月	校舎非構造部材耐震化工事
平成 28 年 12 月	川島町学校木育推進校として認定
平成 30 年 8 月	トイレ洋式化工事
令和 2 年 8 月	校庭大規模改修工事
令和 3 年 2 月	GIGAスクール構想による1人1台学習用端末導入開始
令和 5 年 10 月	150周年記念式典挙行

伊草小学校

『「信頼」と「感動」のある教育』

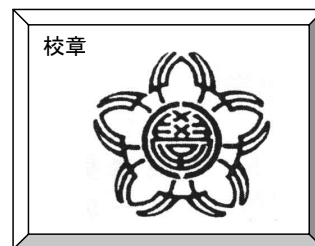
校 長 金子 美里

教 頭 岡村 悠子

・所在地 川島町大字伊草 238-1

・電 話 049-297-0049

・FAX 049-297-8412



児童・学級数の現況

(令和6年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1 年 生	23②	1
2 年 生	26⑥	1
3 年 生	34①	1
4 年 生	53②	2
5 年 生	45	2
6 年 生	42①	2
特別支援学級	12	3
合 計	235	12

※丸数字は、特別支援学級児童

教 育 目 標	重 点
人皆に美しき種あり ～子供たちは、一人一人がよさや可能性を秘めたかけがえのない存在であり、それぞれの持ち味を生かして育てる教育を展開する～ ○ やさしいっぱい(感動) ○ 学びいっぱい(憧れ・夢) ○ 力いっぱい(チャレンジ)	◎ い <いつも明るく楽しい学校にしよう> ◎ ぐ <クラスで高め合い、学び合う学校にしよう> ◎ さ <最高の仲間とともに、健康な心と体を育める学校にしよう> ◎ こ <子供一人一人のよさが輝き、主人公になる学校にしよう> ◎ う <美しく、安全な学校にしよう> 多様性を尊重し、共同しながら 共生社会の創り手となる力を育む
学校研究課題	『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指した授業の創造 ～確かな読解力の育成～

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 7 年 4 月	伊草学校創立大聖寺を校舎に充用
明治 9 年 5 月	角泉学校創設慈眼院を校舎に充用
明治 22 年 5 月	町村制施行と共に伊草及び角泉、安塚、飯島を併せて伊草尋常小学校設置
明治 35 年 10 月	現在地に校舎新築
昭和 41 年 7 月	校舎新築・プール竣工
昭和 48 年 3 月	校旗、校歌制定
昭和 53 年 3 月	校舎新築、屋内運動場新築
昭和 58 年 3 月	南校舎新築
平成 2 年 11 月	伊草小PTA文部大臣賞受賞
平成 8 年 2 月	開校 120 周年記念式典挙行
平成 14 年 4 月	文部科学省・埼玉県教育委員会学力向上フロンティアスクール研究指定(平成 14～16 年度)
平成 17 年 12 月	新校舎竣工
平成 18 年 2 月	落成記念式典挙行
平成 19 年 3 月	体育館竣工
平成 22 年 2 月	デジタルテレビの設置
平成 23 年 9 月	普通教室にエアコン設置
平成 24 年 8 月	太陽光発電設備設置
平成 25 年 9 月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 26 年 9 月	校舎非構造部材耐震化工事
平成 26 年 11 月	プール改修工事
平成 28 年 12 月	川島町学校木育推進校として認定
令和 元年 7 月	校庭東側フェンス改修工事
令和 3 年 2 月	GIGAスクール構想による 1 人 1 台学習用端末導入開始
令和 4 年 12 月	トイレ大規模改修工事
令和 6 年 10 月	開校 150 周年記念式典

つばさ南小学校

『一人一人が生き生き輝く つばさ南小学校』

校 長 山崎 清美

教 頭 工藤 和也

・所在地 川島町大字白井沼945

・電 話 049-297-0077

・FAX 049-297-8413



児童・学級数の現況

(令和6年5月1日現在)

	児童数	学級数
1 年 生	21②	1
2 年 生	14①	1
3 年 生	17	1
4 年 生	16②	1
5 年 生	14①	1
6 年 生	18①	1
特別支援学級	7	2
合 計	107	8

※丸数字は、特別支援学級児童

教 育 目 標	重 点
◎教育理念 温かい人間関係を大切に、すべての教職員が参画する学校経営 ○ やさしく (徳) ○ かしこく (知) ○ げんきよく (体) 「目指す学校像」 子供が生き生きと活動し、保護者・地域から信頼される学校 ○ 心と心の通い合う温かく、安心できる学校 ○ 確かな学力を身につけさせ、学ぶ楽しさ、学ぶ喜びのある学校 ○ 清潔で潤いがあり環境が整った美しい学校 ○ 保護者・地域に開かれた、愛着のある学校	(1) 児童理解を基盤とした、かかわりと広がりを意識した学年経営の充実 (2) 基礎・基本の定着とわかる・できる授業の展開による学力の育成 (3) 豊かな心を育む道徳教育の推進 (4) 健康安全の保持と体力向上 (5) 安心・安全な学校づくりの推進 (6) 開かれた学校づくり
学校研究課題	持続可能な社会を担う児童の確かな資質・能力の育成 ～自然とのつながりを通して～

学 校 沿 革 の 概 要	
平成30年 4月	三保谷小学校と出丸小学校が統合し、つばさ南小学校として開校
令和 3年 2月	GIGAスクール構想による1人1台学習用端末導入開始
令和 5年 5月	埼玉県教育委員会委嘱「SDGsの実現に向けた教育推進事業」(R5～R7年度)

やさしく(徳)

かしこく(知)

げんきよく(体)

つばさ北小学校

『一人一人に向き合い、可能性を引き出す学校』

校 長 大河原 早葉江 ・ 所在地 川島町大字畑中 3 1
教 頭 新井 雅代 ・ 電 話 0 4 9 - 2 9 7 - 0 0 6 4
・ F A X 0 4 9 - 2 9 7 - 8 4 1 5



児童・学級数の現況

(令和 6 年 5 月 1 日現在)

学年	児童数	学級数
1 年 生	21①	1
2 年 生	16①	1
3 年 生	19②	1
4 年 生	20③	1
5 年 生	19③	1
6 年 生	24①	1
特別支援学級	11	2
合 計	130	8

※丸数字は、特別支援学級児童

教 育 目 標	学校経営方針
《学校教育目標》 ○ なかよく ○ かしこく ○ たくましく 《学校像》 一人一人に向き合い、可能性を引き出す学校 《目指す児童像》 気づき、考え、実行する子 《目指す教師像》 情熱をもって教育に取り組み、誰からも信頼される教師 (1) 人間的な魅力にあふれた教師 (2) 情熱や使命感をもつ教師 (3) 幅広い教養と専門性を備えた教師	〈広い目・長い目・逆さの目で、つながりを軸にした学校づくり〉 【なかよく（徳）・進んで助け合える子】 R6重点 (1) 学級経営と生徒指導・教育相談・特別支援教育の関連 (2) 報告・連絡・相談・記録・見届けの徹底 【かしこく（知）・自ら学び考える子】 R6重点 (1) 授業改善と日々の授業の充実 (2) 一人一人を伸ばす教育活動の実践 【たくましく（体）・心身ともに元気な子】 R6重点 (1) 家庭教育力を支える学校教育の推進 (2) 危機管理の「さしすせそ」の徹底 ◎時と場に応じた「あいさつ」の励行
学校研究課題	学校統合期における児童一人一人の可能性を引き出す学びの推進 ～児童理解を基盤にした授業改善を通して～ 【SDGs 目標 4 「質の高い教育をみんなに」(2 年次)】

学 校 沿 革 の 概 要	
平成 3 0 年 4 月	ハッ保小学校と小見野小学校が統合し、つばさ北小学校として開校
平成 3 1 年 3 月	特別支援教室パーテーション工事
令和 3 年 2 月	G I G A スクール構想による 1 人 1 台学習用端末導入開始
令和 5 年 5 月	埼玉県教育委員会委嘱「SDGsの実現に向けた教育推進事業」(R5～R7年度)
令和 6 年 3 月	体育小屋解体工事

川島中学校

『生徒の成長を保障できる学校』

校長 向後 正隆 ・所在地 川島町大字白井沼230
 教頭 加藤 早苗 ・電話 049-297-0112
 ・FAX 049-297-0398



生徒・学級数の現況

(令和6年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1年生	49②	2
2年生	63⑤	2
3年生	64⑥	2
特別支援学級	13	3
合計	189	9

※丸数字は、特別支援学級生徒

教 育 目 標	重 点
学校教育目標 「知性をみがき 心温かで たくましい生徒の育成」 目指す生徒像 「本気」「元気」「勇気」そして「感謝」の川中生 ○「本気」・・・本気で取り組む ○「元気」・・・心身の健康 ○「勇気」・・・挑戦し、やり抜く ○「感謝」・・・『ありがとう』の心を養う	学校経営方針及び重点・努力点 変化の激しい社会を生きる生徒の望ましい自立に向けて、必要となる知・徳・体をバランス良く身に付けさせ、たくましく生きる力を養う 1 確かな学力の向上 ① 基礎・基本の確実な定着。 ② 個々の生徒に応じたきめ細かな学習指導の充実。 ③ 主体的に学ぶ態度の育成。 ④ 学習状況調査結果の分析と活用の充実。 ⑤ 教師の指導力向上を目指した校内研修の充実。 2 生徒指導・教育相談の充実 ① 心のふれあいに努め、信頼関係を確立する。 ② 意図的なリーダー育成を図り、自主・自立・自治能力を高める。 ③ 生徒指導・教育相談に対する教職員全員の理解を高め、共通行動を実践する。 3 学校が核となった、家庭・地域ぐるみの教育の推進。 ① 家庭・地域への積極的な公開と情報発信に努める。 ② 地域の教育力を積極的に導入する。 ③ PDCAサイクルに基づき、学校評価の検証と改善に努める。
学校研究課題	「困難な時代を生き抜く力を備えた生徒の育成」

学 校 沿 革 の 概 要	
昭和33年 9月	三保谷、ハッ保中学校を統合して川島中学校となりハッ保に分教場を置く。
昭和33年11月	新校舎起工式挙行
昭和34年 4月	伊草、小見野中学校を廃止、川島中学校に統合し両校分教場となる。
昭和35年 4月	中山、出丸中学校を廃止、川島中学校に統合。本校舎竣工
昭和36年 1月	校舎第二期工事竣工
昭和36年 4月	分教場を廃止し、全生徒を収容。9月30日を「開校記念日」に制定。
昭和37年 2月	校旗、校歌制定
昭和37年 3月	屋内運動場新築
昭和37年 7月	プール竣工
昭和61年 3月	屋内運動場改築
平成 8年 3月	校舎改築
平成14年11月	県・町教育委員会委嘱「豊かな心と体を育む学校給食」研究発表
平成18年 8月	コンピューター教室改装、ウィンドウズXP対応パソコン導入
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成22年11月	川島中統合50周年記念事業記念式典挙行
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事
令和 3年 2月	GIGAスクール構想による1人1台学習用端末導入開始
令和 3年10月	校舎トイレ改修工事
令和 5年 5月	埼玉県教育委員会委嘱「SDGsの実現に向けた教育推進事業」(R5～R7年度)
令和 5年12月	校舎照明灯LED化工事
令和 6年 1月	校舎及び体育館トイレ改修工事
令和 6年 2月	校舎空調設備更新・新設工事

西中学校

『社会で活躍できる人づくり』
～「なりたい自分」の実現に向け、一歩前進できる生徒を育成する学校～

校 長 佐藤 香織 ・所在地 川島町大字中山270-1
教 頭 佐野 公洋 ・電 話 049-297-2427
・FAX 049-297-2437



生徒・学級数の現況

(令和6年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1 年 生	63②	2
2 年 生	64③	2
3 年 生	63⑤	2
特別支援学級	10	3
合 計	200	9

※丸数字は、特別支援学級生徒

教 育 目 標	重 点
学校教育目標 ○ 学ぶ ○ 鍛える ○ 思いやる 「さすが西中生！」を合言葉に 『自分色の花を咲かせよう！』 そして育てよう！』 目指す生徒像 「一人一人がよさや可能性を開花し、仲間と協働しながら、豊かな未来を切り拓くことのできる西中生」	◎指導の重点 ～具体的な実践～ ★実践の重点 ◎基礎・基本の確実な定着と、質の高い学力の育成 ～川島町「授業スタンダード」を活用したわかった・できた・楽しい授業展開～ ★主体的な学び「見通し（ゴールの設定）・学習課題（めあて）の設定」 ★対話・協働での学び（ペア、トリオ、グループ、フリー、全体） ★深い学び「生徒の言葉で授業のまとめ・学びの振り返り・新たな学び」 ★朝活動の充実 ◎体と心を鍛え、物事に取り組む姿勢の育成 ～運動の楽しさや必要性を学び、できる喜び 挑戦することの素晴らしさを味わわせる指導方法の工夫～ ★進んで運動する ※得意なことを見つける ★Challengepower「挑戦力」・Perseverance「忍耐力」・Resilience「復活力」 ★セルフイメージ（自己認識）力の向上・次へのステップ ◎豊かな人間性を育成（笑顔・感動・思いやり） ～道徳教育・学級活動を充実させ、いじめを許さない学級づくり～ ★道徳の時間の確実な実施と授業改善 ★学級活動（1）における学級会の実施とその充実 生活上の課題を解決するための話し合いによって合意形成を図り、実践する ★他者の思いを汲み取り、相手の立場に立って行動
学校研究課題	「学級活動を通し、自己肯定感を高め、いろいろなことに積極的に取り組む生徒の育成」～非認知能力の向上による学力向上～

学 校 沿 革 の 概 要	
平成 3 年 1 0 月	校名制定
平成 4 年 4 月	起工式
平成 4 年 1 1 月	校章制定
平成 5 年 3 月	校舎・体育館完成
平成 5 年 4 月	川島中学校より分離開校
平成 5 年 6 月	プール竣工
平成 5 年 1 2 月	校歌制定
平成 6 年 2 月	6 月 7 日を開校記念日に制定。
平成 1 0 年 8 月	第 2 8 回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成 1 1 年 8 月	第 2 9 回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成 1 4 年 1 1 月	創立 1 0 周年記念式典
平成 1 6 年 6 月	「平成 1 6 年度中学生奉仕社会体験活動推進事業」県教委委嘱
平成 1 7 年 4 月	「平成 1 7 年度彩の国バイオニクススクール」県教委指定
平成 1 9 年 4 月	「生徒指導研究推進事業」町教委指定
平成 2 2 年 2 月	デジタルテレビの設置
平成 2 2 年 6 月	校庭改修工事
平成 2 3 年 9 月	普通教室にエアコン設置
平成 2 4 年 6 月	埼玉県教育委員会委嘱「教育に関する3つの達成目標」の推進に関する研究
平成 2 5 年 9 月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 2 7 年 4 月	埼玉県教育委員会委嘱「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり研究推進校」
平成 2 7 年 5 月	川島町教育委員会委嘱「生徒の社会性育成を目指したスキル教育と道徳教育を関連させた学習活動の工夫」
平成 2 7 年 9 月	太陽光発電設備設置・蓄電池設備設置
平成 2 8 年 6 月	特別教室にエアコン設置
平成 2 8 年 8 月	校舎非構造部材耐震化工事
平成 2 9 年 6 月	埼玉県教育委員会委嘱「道徳教育研究推進モデル」
平成 3 0 年 1 1 月	埼玉県教育委員会委嘱「道徳教育研究推進モデル校」本発表
令和 元 年 5 月	川島町教育委員会「進路指導・キャリア教育の充実」
令和 元 年 1 1 月	2 5 地区進路指導・キャリア教育発表
令和 3 年 2 月	G I G A スクール構想による 1 人 1 台学習用端末導入開始
令和 3 年 1 0 月	校舎トイレ改修工事
令和 4 年 7 月	さわやか相談室バーテーション修繕

学校施設

令和6年5月1日現在

(1) 校地

単位：㎡

校地 学校名	建物敷地	屋外運動場	その他	合 計	屋外運動場 1人当たり 面 積
中山小学校	8,057	5,003		13,060	25.0
伊草小学校	7,150	7,301		14,451	31.1
つばさ南小学校	5,055	6,033		11,088	56.4
つばさ北小学校	4,593	7,400		11,993	56.9
計	24,855	25,737		50,592	38.3
川島中学校	13,499	11,702	2,631	27,832	61.9
西中学校	12,925	13,939		26,864	69.7
計	26,424	25,641	2,631	54,696	65.9
学校給食センター	3,757			3,757	

(2) 校舎

単位：㎡

建物区分 学校名	保 有 建 物 面 積							
	一 般 校 舎					屋 内 運 動 場		
	鉄 筋 コンクリート	鉄 骨 その他	木造	計	1人 当たり 面 積	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	1人 当たり 面 積
中山小学校	4,623	34		4,657	23.3	1,019		5.1
伊草小学校	4,218			4,218	17.9	902		3.8
つばさ南小学校	1,685	46		1,731	16.2		733	6.9
つばさ北小学校	1,706			1,706	13.1		733	5.6
計	12,232	80	0	12,312	18.3	1,921	1,466	5.0
川島中学校	5,941	52		5,993	31.7		1,269	6.7
西中学校	6,656			6,656	33.3	1,937		9.7
計	12,597	52	0	12,649	32.5	1,937	1,269	8.2
学校給食センター		1,327		1,327				

児童・生徒数一覧

○小学校

令和6年5月1日現在

学 年		1	2	3	4	5	6	特学 (※)	計
学 校 名	児 童 数	28 ①	21 ②	25 ②	49 ③	30 ②	35 ②	12	200
	級 数	1	1	1	2	1	1	3	10
伊草小学校	児 童 数	23 ②	26 ⑥	34 ①	53 ②	45	42 ①	12	235
	級 数	1	1	1	2	2	2	3	12
つばさ南小学校	児 童 数	21 ②	14 ①	17	16 ②	14 ①	18 ①	7	107
	級 数	1	1	1	1	1	1	2	8
つばさ北小学校	児 童 数	21 ①	16 ①	19 ②	20 ③	19 ③	24 ①	11	130
	級 数	1	1	1	1	1	1	2	8
合 計	児 童 数	93 ⑥	77 ⑩	95 ⑤	138 ⑩	108 ⑥	119 ⑤	42	672
	級 数	4	4	4	6	5	5	10	38

※特学とは特別支援学級

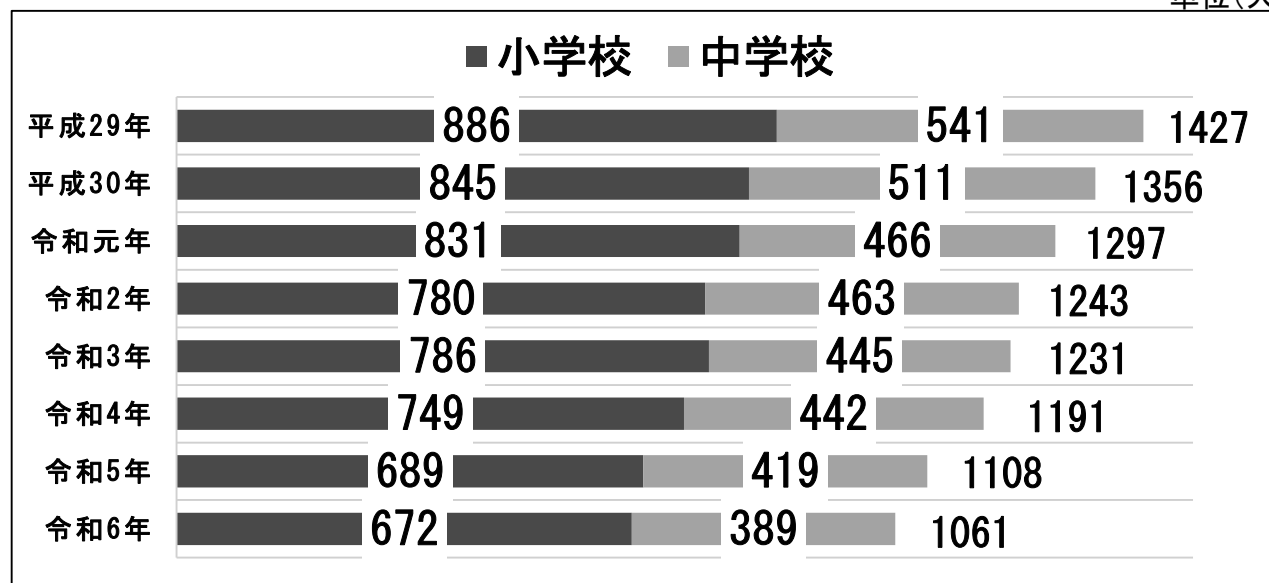
○中学校

学 年		1	2	3	特学 (※)	計
学 校 名	生 徒 数	49 ②	63 ⑤	64 ⑥	13	189
	級 数	2	2	2	3	9
西中学校	生 徒 数	63 ②	64 ③	63 ⑤	10	200
	級 数	2	2	2	3	9
合 計	生 徒 数	112 ④	127 ⑧	127 ⑪	23	389
	級 数	4	4	4	6	18

※丸数字は特別支援学級児童生徒

児童・生徒数の推移

単位(人)



町立小・中学校教職員数

令和6年5月1日現在

区 分	小学校								中学校				計
	中山小		伊草小		つばさ南小		つばさ北小		川島中		西中		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
(県費職員)													
校長	1			1		1		1	1			1	6
教頭		1		1	1			1		1	1		6
主幹教諭			1		1		1						3
教諭	7	4	8	10	2	6	5	6	10	7	11	6	82
助教諭	1			1	1								3
養護教諭		1		1		1		1		1		2	7
栄養教諭										1			1
事務職員		1	1			1		1	1	1	1		7
講師		1	1	1		2	1		1	1		1	9
小計	9	8	11	15	5	11	7	10	13	12	13	10	124
(町費会計年度任用職員)													
児童・生徒支援員(※4)	1	3		4	1	3	1	3	2	2	1	2	23
校務員(※1)	1		1			1		2		1		1	7
給食配膳員		1		1						1		1	4
教育業務支援員		1		1	1			1	1		1		6
学校図書事務(※2)						1		1					2
外国語支援員(※3)		1		1		1		1					4
さわやか相談員									1			1	2
部活動指導員(※4)									3		1		4
小計	2	6	1	7	2	6	1	8	7	4	3	5	52
合計	25		34		24		26		36		31		176

※1 川島中学校、西中学校の校務員は正規職員です。

※2 学校図書事務はつばさ南小学校とつばさ北小学校を兼務しています。

※3 外国語支援員は中山小学校とつばさ南小学校、伊草小学校とつばさ北小学校をそれぞれ兼務しています。

※4 町費会計年度任用職員の川島中学校男性職員1名は、児童・生徒支援員、部活動指導員を兼務しています。

川島町学校給食センター

1 施設概要

- (1) 所在地 比企郡川島町大字上八ツ林798-1
 (2) 電話 049-297-0260 FAX 049-297-0230
 (3) 建築年 平成3年6月
 (4) 建築面積 3,754 m²
 (5) 建物 鉄骨造一部2階建
- | | |
|----|-------------------------|
| 1階 | 1,063.50 m ² |
| 2階 | 174.50 m ² |
| 合計 | 1,238.00 m ² |

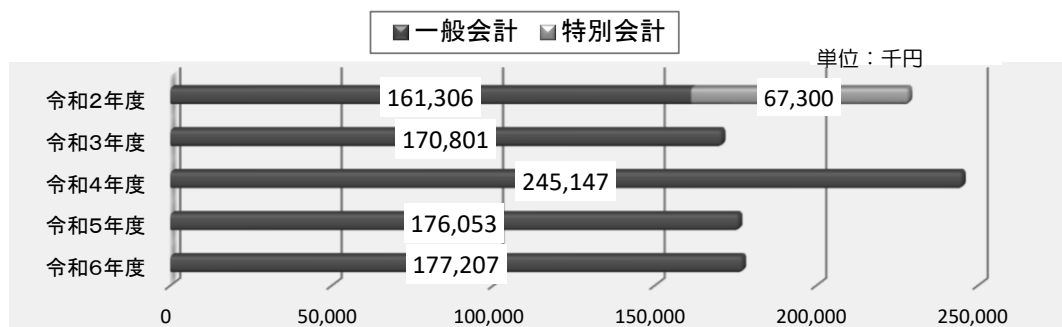
2 運営の基本方針

児童生徒に対して栄養のバランスに配慮した食事を提供し、望ましい食習慣の形成や良き人間関係を育成することなどをねらいとして実施しており、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うことを目的としています。

3 職員

- (1) 事務職員 4人 (うち県栄養士 1人)
 (2) 労務委託職員 18人 (調理・洗浄・配送)

4 学校給食費予算 (当初)



※令和3年度から学校給食に係る予算は、全て一般会計で経理することとなりました。

5 学校給食人員 (令和6年5月1日現在)

- (1) 小学校 754人 ※教職員を含む
 (2) 中学校 440人 ※教職員を含む
 (3) センター 21人
 合計 1,215人 ※教職員を含む

6 給食実施予定回数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度予定
1学期	65回	66回	67回
2学期	72回	72回	73回
3学期	48回	48回	47回
合計	185回	186回	187回

7 給食費

- (1) 児童1人当たり 月額 4,000円
 (2) 生徒1人当たり 月額 4,900円

8 学校給食の7つの目標（学校給食法第2条より）

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

9 学校給食センター運営委員会の実施

学校給食センター運営の指針を示し、学校給食の適正かつ円滑な運営を図るために設置し、運営に関する重要な事項について審議するとともに、必要な調査、研究を行う。

【委員】

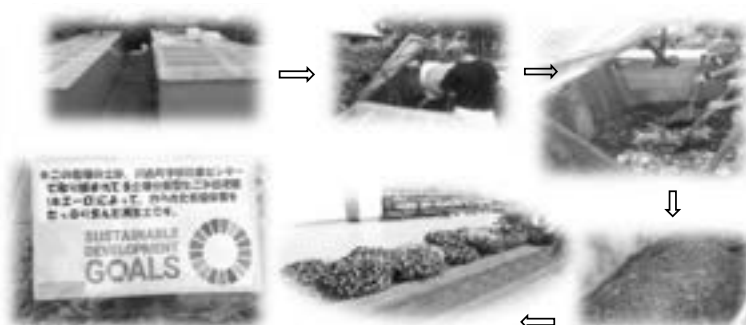
- (1) 小・中学校長代表
- (2) 各小・中学校PTA代表
- (3) 保健所所長
- (4) 校医代表
- (5) 学識経験者
- (6) 公募による町民
- (7) 町食育担当者

10 重点的な取り組み

- (1) 食育の推進…授業や試食会により、児童・生徒及び保護者へ食の重要性を啓発。給食への関心を深めるべく町民を対象とした試食会を開催。
- (2) 地産地消への取り組み…JAや地域商社さまちかと連携を図り、川島町の農産物を積極的に献立に取り入れる。
- (3) 行事食・伝統食の献立化…川島町のすったて・呉汁のほか、「郷土料理で全国一周!!」と銘打って、毎月1回全国各地の郷土料理を再現。
- (4) ゴミの減量化…SDGsへの取り組みとして、給食で出る生ゴミを処理するキエーロをセンター敷地内に10基設置。自然の力（土の中にいる微生物の力）で数週間かけ生ゴミを分解させ良質な堆肥を作り、その堆肥を学校の花壇などに利用。ゴミの削減・エコ循環を実践。



令和6年4月実施『石川県郷土料理』
めった汁・鰯の照りあげ・治部煮



つばさ北小学校花壇の様子

- (5) 第3子以降給食費無償化事業

Ⅲ 生涯學習

生涯学習の推進体制

1 生涯学習の推進体制について

本町の生涯学習は、「第6次川島町生涯学習推進総合計画」に基づいて、推進しています。本計画の策定に至る経緯は以下のとおりです。

町民が充実した人生を送るためには、生涯にわたり学習活動を行うことが1つの有効な手段です。そこで、川島町では、町民の学習活動を支援し、学習環境の整備を促進するために、平成4年度に「生涯学習のまち宣言」を行うとともに、「第1次川島町生涯学習推進総合計画」（以下、「総合計画」という。）を策定しました。その後、第5次に至るまでの総合計画に基づき、生涯学習施策を総合的に推進することにより、地域学校協働活動の実践、総合型地域スポーツクラブの設立等、本町の生涯学習の推進に一定の成果を上げることができました。令和2年度をもって「第5次川島町生涯学習推進総合計画」の計画期間が終了したことから、引き続き、計画的に生涯学習施策を推進していくため、現状を把握し、時代の変化に対応した本町の生涯学習推進の指針となる「第6次川島町生涯学習推進総合計画」を新たに策定しています。

2 基本理念

基本理念

楽しくまなび、仲間をつくり、豊かな地域をそだてる

3 基本理念策定の主旨

豊かな地域づくりには、「楽しさ」を共有しながら、より多くの人々が学び、仲間をつくり、地域社会に主体的に関わるのが大切です。そのような前向きな活動を通じて、地域社会を持続可能なものにするとともに、地域をけん引する大勢の地域のリーダーが成長することが理想です。学ぶ楽しさからスタートする豊かな地域づくり、人づくりへの願いを込めて、「楽しくまなび、仲間をつくり、豊かな地域をそだてる」を基本理念とします。

4 本計画の位置づけ

この計画は、「第6次川島町総合振興計画」基本計画の中に位置付けられた基本目標等を、生涯学習の視点から総合的に推進することを目的とした個別計画です。また、「川島町教育大綱」（計画期間令和3年～7年）を参酌して作成し、また各年度に策定される「川島町教育行政重点施策」（各年度策定）は、本総合計画を基に策定をすることで、各種計画の整合性を図っています。

5 本計画の期間

計画の期間は、「第6次川島町総合振興計画」と整合性を図るため、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

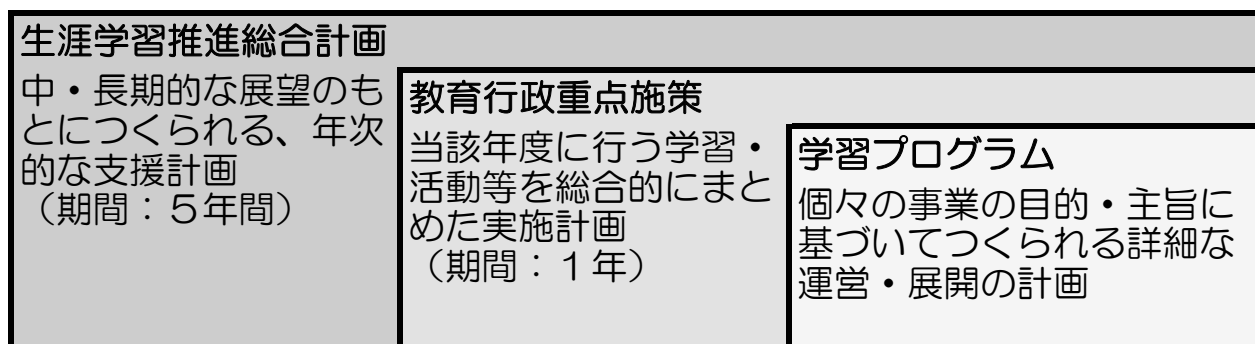
6 生涯学習の施策体系（生涯学習推進総合計画）

計画の施策体系は、以下のとおり基本目標、施策、主な取り組みで構成されています。



7 生涯学習推進総合計画と年間事業計画の位置づけ

本計画は、総合振興計画の下位計画となります。生涯学習に関する諸計画は、本計画を最上位計画とし、以下のとおりの構成になっています。本計画の下位計画として、教育行政重点施策、さらにその下位計画として、学習プログラムが位置付けられます。

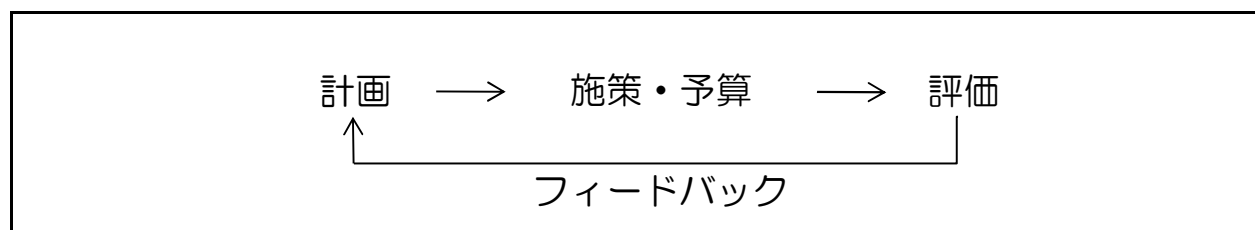


8 年間事業計画設定

年間事業計画である教育行政重点施策は、総合振興計画・生涯学習推進総合計画をふまえた上で決定します。具体的な各種取組は、広報紙、町ホームページ、かわべえメール等を活用して周知します。

9 事業評価

評価の方法は、教育行政重点施策に掲げた目標を評価します。具体的には、まずは職員による自己評価を行い、次に学識経験者による第三者評価を行います。その結果は、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」としてまとめ、町ホームページ等で公表します。



第6次川島町生涯学習推進総合計画の概要

基本理念

楽しくまなび、仲間をつくり、豊かな地域をそだてる

基本目標	主要施策	主な取り組み
1 生涯学習の推進体制の再構築と実践	(1) 地域活動センター（仮称）の開設に向けた調査・研究 (2) 地域学校協働活動の実践と研究 (3) 総合型地域スポーツクラブと連携した活動の充実	① 地域活動センター（仮称）開設準備検討委員会の実施 ② 先進事例地の視察・情報収集 ① 地域学校協働活動「地域ゆめ・みらいづくり事業」の充実 ② 地域団体（学校・PTA・地域子ども教室・公民館等）のネットワーク化 ③ 地域活動センター（仮称）との連携方法の検討 ④ 近隣大学との連携による各種講座・教室の充実 ① 総合型地域スポーツクラブへの支援と活動の充実 ② 中学生の部活動支援に資する内容の実施 ③ 魅力的なスポーツフェスティバルの実施
2 学習施設の適切な管理運営と団体支援	(1) 社会教育・体育施設の適切な維持管理 (2) 各種団体への支援	① 公民館施設の在り方の検討 ② 緊急時対応修繕費の計上 ① 各種委員会・団体の資質向上に係る研修会の充実 ② 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・文化協会・スポーツ協会への事業助成及び運営支援 ③ 外国人支援団体への運営支援
3 質の高い図書館運営	(1) 町立図書館の利便性の向上 (2) 子どもたちの豊かな読書体験の推進	① 電子図書館システムの導入の検討 ② 図書館システムの活用による読書支援の拡充 ③ 学習者への支援機能・相談・情報提供機能の充実 ④ 夏休み子ども学習支援講座（宿題サポート）の充実 ⑤ 緊急時対応修繕等による適切な施設の維持管理 ① 小学生への読書推進事業の充実 ② YA（ヤングアダルト）世代への読書推進事業の充実 ③ 町内小中学校との連携強化

4 地域課題に対応した各種学習機会やスポーツ教室の充実	(1) 知的好奇心を刺激する講座等の充実 (2) スポーツの推進に関する取組 (3) 文化・芸術に関するイベント (4) 子どもの豊かな学習・体験活動の推進	① 趣味、教養に関する講座 ② 地域の課題解決や安全安心づくりのための講座 ③ 家庭教育に関する講座 ④ 優しさを育む人権教育の実施 ① 総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室の充実 ② 体力測定等の健康づくり事業の実施 ③ ウォーキングイベントの充実 ① 中央文化展の充実 ② 生涯学習町民ふれあいフェスティバルの充実 ③ 気軽に参加できるミニコンサート等の実施 ① 旧小学校における子供の居場所づくりの推進 ② 地域学校協働活動「地域ゆめ・みらいづくり事業」の充実（再掲） ③ 地域子ども教室の実施
5 伝統芸能の継承への支援と文化財の保護	(1) 地域に根差した伝統芸能の継承のための支援 (2) 文化財の保護 (3) かわじま郷土資料館（仮称）開設に向けた準備	① 伝統文化の映像記録と公開 ② 伝統芸能団体への活動費補助事業 ③ 郷土芸能祭の実施 ① 既存文化財資料の整理、保存 ② 歴史・文化に関する講座等の実施 ① かわじま郷土資料館（仮称）設置準備委員会の開設 ② かわじま郷土資料館（仮称）展示資料の調査・研究・作成

IV 社 会 教 育

社会教育施設の概要

名称、所在地ならびに連絡先	主 な 施 設	建設年度
川島町コミュニティセンター 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 1,377 m ² ・和室 (2部屋) ・談話室 ・会議室 (2部屋)	昭和55年度
ふれあいセンターフラットピア川島 川島町八幡 6-1-2 TEL 049-297-1117 FAX 049-297-7773	面積 636 m ² ・多目的ホール ・研修室 ・調理室 ・和室	平成10年度
川島町民体育館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 2,475 m ² ・体育館 (アリーナ) 1,134 m ² ・卓球室 148 m ² ・多目的室 148 m ² ・ランニングコース (1周) 130 m	昭和55年度
総合運動場 川島町大字下八ツ林 930 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 24,045 m ² ・運動場 20,895 m ² 野球場、ソフトボール 照明施設 テニスコート (4面) 3,150 m ²	昭和47～ 50年度 ※照明58年度
出丸運動場 川島町大字出丸下郷 1025 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・北 10,311 m ² ・南 11,289 m ² 野球場 (北・南) 1面 ソフトボール場 (南) 2面 ソフトボール場 (北) 2面	昭和59年度
川島町ゲートボール場 川島町大字白井沼 457 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・クレイコート (2面) 1,208 m ²	昭和55年度
川島町武道館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 1,124 m ² ・柔道場 420 m ² ・剣道場 420 m ²	昭和61年度
川島町弓道場 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 231 m ² ・射場 (3人立ち) 63 m ² ・的場 16 m ² ・矢道 151 m ²	平成元年度
かわじま窯 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 79 m ² (鉄骨造・平屋建) ・陶芸窯1基 ・電動ろくろ3台	昭和63年度
※川島町民会館 川島町大字下八ツ林 926-1 TEL 049-297-1667 FAX 049-297-6710	総面積 1,994 m ² ・ホール ・アリーナ ・研修室 ・会議室1 ・会議室2	昭和61年度

※文化施設

公 民 館 概 要

中 央 公 民 館 （コミュニティセンター内）

所 在 地		比企郡川島町大字下八ツ林923 TEL 049 - 297 - 1611		
職 員		館長 神田 雅貴（兼） 主事 藤井 幸平(兼) 守屋 紗矢香(兼)		
施設	構 造	鉄筋コンクリート	建 設 年 度	昭和 55年度
	建 物 面 積	1, 377. 00 m ²	敷 地 面 積	8, 000. 00 m ²
	駐 車 場	有	収 容 台 数	200 台
	施 設 概 要	和室①（27畳）、和室②（18畳）、会議室①（100m ² ）、 会議室②（50m ² ）、談話室（50m ² ）		
	その他特徴的なこと ・コミュニティセンターとの共有施設			
休 館 日		12月 29日 ～ 1月 3日		
開 館 時 間		8:30 ～ 21:00		
運営方針	Ⅰ. 生きる力と豊かな心に満ちた人間の育成 Ⅱ. すこやかで明るく、仲良く助け合い、社会に貢献する家庭の育成 Ⅲ. 人権教育の推進 Ⅳ. 町民の健康増進と生涯スポーツの推進 Ⅴ. 地区公民館とは趣き、規模の異なる事業を開催する。 Ⅵ. 地区公民館の連絡調整を行う。			
公民館運営審議会	年間開催回数及び審議事項（中央公民館、地区公民館共通の委員） 開催回数 年3回 審議事項 ・ 公民館事業や公民館運営に関する諸課題について ・ その他			
館運営の基本方針 ・ 中央公民館は町民の要請に沿った広範な事業を開催する。 また、地区公民館の連絡調整を行う。				
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 青少年の健全育成を目標として、様々な体験学習の機会を提供する地域子ども教室を開催しており、また、親子や高齢者等が気軽に参加できる様々な事業も取り入れている。				

令和6年度の主な事業（中央公民館）

事業名	時期	対象
地域学校協働活動 (あかめひろば・みんなのひろば)	令和6年4月～令和7年3月	小学生・中学生・一般
かわじま はるかぜウォーク2024	令和6年4月29日（祝・月）	一般
地域子ども教室	令和6年6月～令和7年3月	小学生
町民スポーツ大会（各種競技）	令和6年5月～8月	一般
親の学習	各小学校就学時健診時	新入学児童の保護者
第44回川島町中央文化展	令和6年11月1日（金）～ 11月5日（火）	幼稚園児・保育園児 小中学生 一般
かわじま スポーツチャレンジ2024	令和6年11月3日（祝・日）	一般
第32回生涯学習町民ふれあいフェスティバル	令和6年11月3日（祝・日）	一般
かわじま ランニングフェスティバル2024	令和6年12月8日（日）	一般
二十歳の成人式	令和7年1月12日（日）	平成16年4月2日から 平成17年4月1日までに生 まれた方
彩の国さいたま郷土かるた川島大会	令和7年1月25日（土）	小学生
彩の国さいたま郷土かるた県大会	令和7年3月9日（日）	小学生
各種教養講座	随時開催	講座内容により変更

中山公民館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8711		
職 員	館長 中村 克己	主事 岡崎 真由美	
館運営の基本方針 ・ 公民館を通じた共助体制構築と情報発信で、地域の防災能力の向上と活性化を図る。 ・ 地域の方々が集まりやすい公民館事業の展開をする。 ・ 社会環境の変化に対応し、住民と一緒に歩んでいける公民館事業を推進する。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 盆踊り大会、地区体育祭、敬老会を三大事業として、それぞれに地域住民を中心とした実行委員会を組織し、誰もが気軽に楽しく参加できる事業を推進する。			

伊草公民館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8712		
職 員	館長	主事 北林 肇	
館運営の基本方針 ・ 積極的な公民館開放を行い、コミュニティの育成に努め、生涯学習の拡充を図る。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 郷土芸能の保存に力を入れ、文化祭等ではその発表の場を提供している。			

三保谷公民館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8713		
職 員	館長 鈴木 克史	主事 鈴木 恵一	
館運営の基本方針 ・ 地域住民の方が公民館を拠点の場とし、参加しやすい事業展開をする。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 山野草展、文化祭を開催し、地域の文化活動の拠点としている。 ・ 盆踊り大会、地区体育祭、ふる里敬老芸能祭の事業に対し、一人でも多くの地域住民の方が参加できるよう事業推進する。			

出 丸 公 民 館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8714		
職 員	館長 宇津木 康明	主事 宇津木 忠明	
館運営の基本方針 ・ 地域住民の学習要求にこたえられるような事業を推進する。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ スポーツ大会、教室を実施して住民の健康づくりに取り組んでいる。 ・ 盆踊り大会、合同地区体育祭等を実施することで、地域づくりに取り組んでいる。			

ハ ツ 保 公 民 館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8715		
職 員	館長 馬場 武男	主事 町田 邦夫	
館運営の基本方針 ・ 地域づくりと生涯学習の拠点となるべき事業を推進する。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 高齢者学級 ・ スポーツ大会等を実施し愛好者を通じてコミュニティの育成に努める。			

小 見 野 公 民 館

連絡先	TEL 080 - 8483 - 8716		
職 員	館長 安田 勝美	主事 田中 裕康	
館運営の基本方針 ・ 生涯学習の拠点として、だれでも、いつでも、学習できるように運営する。			
事業の特徴（館として特に力を入れていること） ・ 盆踊り大会・敬老芸能大会・文化祭 ・ スポーツイベントを実施して、地域住民の健康づくりに寄与している。			

川島町立図書館

1 施設概要

(1) 本館

- ・所在地 比企郡川島町大字下ハツ林901
- ・電話 049-297-6030
- ・FAX 049-297-6060
- ・開館年 昭和61年9月
- ・建物 鉄筋コンクリート 2階建て 871 m²

2 利用

(1) 登録

- ・川島町に住んでいる方、通勤・通学している方、団体
- ・比企広域市町村圏の構成市町に在住・通勤・通学している方
- ・川越都市圏まちづくり協議会（レインボー協議会）の構成市町に在住している方

(2) 貸出

- | | | | |
|-----|------------|-----------|-----|
| ・個人 | 一般書・雑誌 | 合わせて10冊まで | 2週間 |
| | 児童書・紙芝居 | 合わせて20冊まで | 2週間 |
| | CD（中学生以上） | 2点まで | 2週間 |
| | DVD（中学生以上） | 1家族1枚まで | 1週間 |
| ・団体 | 図書・紙芝居 | 100冊まで | 3週間 |

3 運営の基本方針

図書館は、町民の求める図書資料を正確迅速に提供していくと共に、常に新しい情報の図書資料を備え、文化と生活の向上に役立つよう努める。

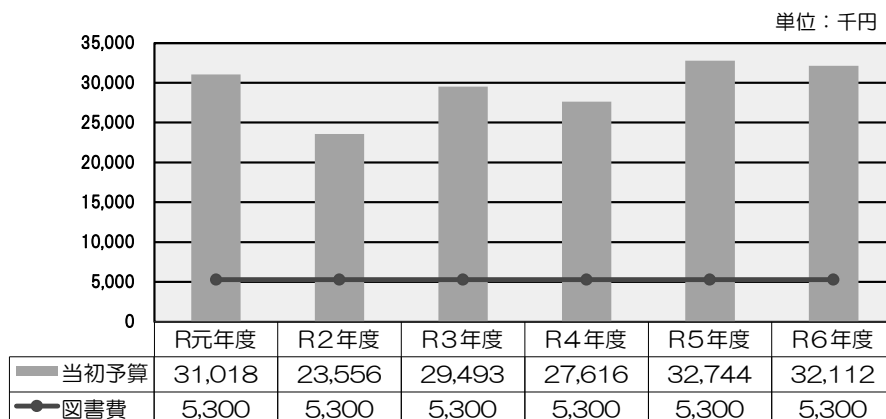
4 令和6年度の重点施策

- ・比企広域電子図書館の小中学校への導入
- ・「子ども読書活動の推進に関する基本計画」の策定に向けた検討
- ・電子図書館サービスの普及と登録者数の増加
- ・読書の記録通帳の活用による貸出人数及び冊数の増加
- ・レファレンス・サービスの向上による情報提供機能の充実
- ・ボランティアとの連携による読書及び学習支援の充実

5 職員

館長（生涯学習課長兼務）、副館長（会計年度任用職員）、職員1名、その他（会計年度任用職員5名）

6 図書館予算



7 蔵書統計（令和6年3月31日現在）

一般書	76,235 冊
児童書	42,252 冊
合計	118,487 冊

A V	2,431
新聞	7 紙
雑誌	71 誌

8 図書館利用統計（令和5年度開館日数 293日）

入館者数 (人)	貸出数				合計 (点)	利用 (件)
	一般書	児童書	雑誌	A V		
24,831	36,870	57,100	4,659	1,984	100,613	6,213

9 活動指標

(1) 登録率

$$\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100 = \frac{16,624 \text{ 人}}{18,784 \text{ 人}} \times 100 = 88.5\%$$

※登録者数は、町内在住登録者のみ。なお、有効期限切れの登録者も含んでいます。

(2) 1日平均貸出冊数

$$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{開館日数}} = \frac{100,613 \text{ 点}}{293 \text{ 日}} = 343.4 \text{ 冊}$$

※団体貸出分含む

(3) 町民1人当たり蔵書冊数

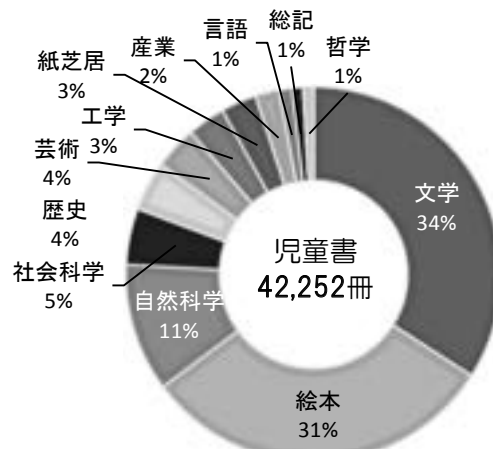
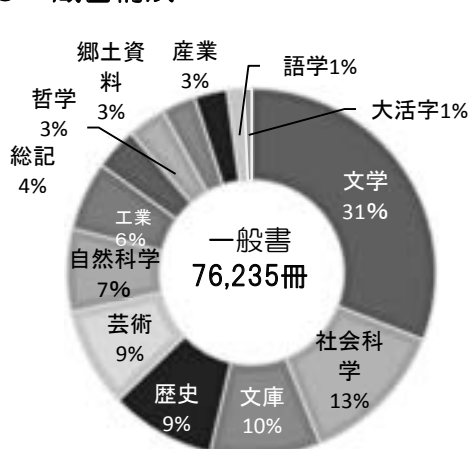
$$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}} = \frac{118,487 \text{ 冊}}{18,784 \text{ 人}} = 6.3 \text{ 冊}$$

(4) 人口一人当たり図書費

$$\frac{\text{R6年度図書費}}{\text{人口}} = \frac{5,300 \text{ 千円}}{18,784 \text{ 人}} = 282.2 \text{ 円}$$

※人口は、令和6年4月1日現在

10 蔵書構成



11 令和6年度 事業予定

事業名	対象	時期
おはなし会	乳幼児・児童 保護者	毎月第3土曜日（0歳～4歳） 毎月第4日曜日（どなたでも）
ブックスタート	乳児・保護者	4か月児健診時
こどもの読書週間イベント 「こんな本、どう？」	幼児～高校生	4月23日～5月12日
「地域子ども教室」出張おはなし会	小学生	随時
夏休み宿題サポート	小学生	7月23日～26日
としょかん読書マラソン	小学生	9月～12月
中高生POPコンテスト	中高生	8月～9月
ブックリサイクル	一般	11月3日及び不定期
玄関・児童書コーナーのテーマ展示	一般・児童	毎月
図書館だより	一般 児童	毎月（広報かわじまに掲載） 毎月（小学生全員に配布）
図書館カレンダー	一般	年4回
「広報かわじま」音訳CD吹き込み・貸出	視覚障害者	毎月
団体貸出	小学校・保育園 学童クラブ 特別支援学校	随時



夏休み 宿題サポート



中高生POPコンテスト

川島町スポーツ少年団 一覧

No.	団 体 名	活 動 種 目	主な活動場所
1	中山ジュニアバレーボールスポーツ少年団	バレーボール	中山小体育館
2	川 島 サ ッ カ ー ス ポ ー ツ 少 年 団	サッカー	防災基地グラウンド
3	川 島 町 柔 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	柔道	川島町武道館
4	川 島 ラ イ オ ン ズ ス ポ ー ツ 少 年 団	野球	防災基地グラウンド
5	JJF ス ポ ー ツ 少 年 団	バスケットボール	町民体育館
6	川 島 剣 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	剣道	川島町武道館
7	TCA 川 島 走 遊 会	ランニング	つばさ北小学校グラウンド・体育館

川島町スポーツ協会加盟団体一覧

No.	団 体 名	代 表 者
1	野 球 連 盟	馬場 武男
2	バ レ ー ボ ー ル 連 盟	神田 隆
3	イ ン デ ィ ア カ 連 盟	西村 春夫
4	サ ッ カ ー 協 会	矢部 勝宏
5	ソ フ ト テ ニ ス ク ラ ブ	道祖土義之
6	剣 道 連 盟	大久保道夫
7	柔 道 会	町田 文夫
8	空 手 道	澤田 和夫
9	ほ な み 会 (民 踊)	鈴木ゆり子
10	ゴ ル フ 協 会	比留間敏之
11	ス キ ー 連 盟	関 口 孝 美
12	卓 球 連 盟	佐々木義文
13	グ ラ ウ ン ド ・ ゴ ル フ 連 盟	勝 田 豊
14	合 気 道 川 島 町 同 好 会	馬場 孝師
15	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 協 会	花 嶋 真 次

川島町文化協会加盟団体一覧

No.	団 体 名	代 表 者
1	川 島 町 書 道 愛 好 会	永 井 真 也
2	川 島 町 陶 芸 ク ラ ブ	矢 部 京 子
3	ぬ の し り 写 友 会	岡 部 俊 夫
4	川 島 俳 句 連 盟	大 野 健 一
5	川島町絵画愛好会“遊画”	小 田 秀 春
6	合 唱 連 盟	江 崎 洋 子
7	川 島 町 郷 土 愛 好 会	菊 池 建 太
8	ウクレレサークルフレンズ	小 岩 和 子

文化財一覽

種 別	名 称	所有者又は管理者
◎ 建 造 物	広 徳 寺 大 御 堂	廣 徳 寺
◎ 絵 画	紙 本 著 色 三 十 六 歌 仙 切 頼 基 (佐 竹 本)	(公財) 遠山記念館
◎ 工 芸 品	秋 野 時 絵 手 箱	(公財) 遠山記念館
◎ 書 跡	寸 松 庵 色 紙 伝 紀 貫 之 筆	(公財) 遠山記念館
◎ 書 跡	源 頼 朝 筆 書 状	(公財) 遠山記念館
◎ 絵 画	絹 本 著 色 春 霽 起 鴉 図	(公財) 遠山記念館
◎ 絵 画	紙 本 著 色 布 晒 舞 図 英 一 蝶 筆	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 東 棟	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 中 棟	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 西 棟	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 土 蔵	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 長 屋 門	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 庭 門 及 び 内 堀	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 裏 門 及 び 外 堀	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 茶 室 本 席	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 茶 室 寄 付 待 合	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 茶 室 雪 隠	(公財) 遠山記念館
◎ 建 造 物	旧 遠 山 家 住 宅 茶 室 腰 掛 待 合	(公財) 遠山記念館
◇ 建 造 物	鈴 木 家 住 宅 主 屋	個 人 所 有
◇ 建 造 物	鈴 木 家 住 宅 土 蔵	個 人 所 有
◇ 建 造 物	金 剛 寺 大 日 堂	金 剛 寺
◇ 建 造 物	金 剛 寺 山 門	金 剛 寺
○ 絵 画	叔 悦 禅 師 頂 相	養 竹 院
○ 絵 画	紙 本 着 色 達 磨 図 信 方 印	養 竹 院
○ 絵 画	絹 本 着 色 太 田 資 頼 像	養 竹 院
○ 古 文 書	道 祖 土 文 書	個 人 所 有
□ 古 文 書	小 美 濃 郷 検 地 帳	個 人 所 有
□ 民俗文化財 (有形)	道 祖 神	八 幡 神 社
□ 歴史資料	算 額	光 西 寺
□ 工 芸 品	鰐 口	薬 師 堂 保 存 会
□ 彫 刻	地 蔵 菩 薩 立 像	個 人 管 理
☆ 民俗文化財 (無形)	伊 草 獅 子 舞	伊 草 獅 子 舞 保 存 会
□ 彫 刻	薬 師 如 来 坐 像	薬 師 堂 保 存 会
□ 考古資料	石 棺	川 島 町
□ 彫 刻	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	西 見 寺
□ 彫 刻	木 造 聖 観 音 坐 像	正 泉 寺
□ 彫 刻	木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	金 剛 寺
☆ 民俗文化財 (無形)	下 廊 囃 子	下 廊 囃 子 連
☆ 民俗文化財 (無形)	飯 島 囃 子	飯 島 囃 子 連
☆ 民俗文化財 (無形)	角 泉 囃 子	角 泉 囃 子 連
県選定重要 遺跡・史跡	稲 荷 塚 古 墳 群	川 島 町

※ 種類の凡例

指定区分／

国指定重要文化財は「◎」

国登録有形文化財は「◇」

県指定有形文化財は「○」

町指定有形文化財は「□」

町指定無形文化財は「☆」

V 教育関係役員

教育行政関係役員一覧

町

町	長	飯 島 和 夫
副 町	長	石 島 一 久

社会教育委員

学 校 教 育 関 係	山 崎 清 美
家 庭 教 育 関 係	高 椋 聡 子
社 会 教 育 関 係	磯 真砂子
	鈴 木 輝 夫
	森 謙 壽
	間 中 龍 史
	木 村 明
学 識 経 験 者	戸 森 始
	青 山 鉄 兵
	関 口 昭 彦

公民館運営審議会委員

学 校 教 育 関 係	鈴 木 和 也
社 会 教 育 関 係	佐 藤 榮
	佐 藤 菊 江
家 庭 教 育 関 係	野 口 久美子
	島 田 信 子
学 識 経 験 者	青 山 鉄 兵

幼・小・中・PTA会長

連 合 P T A	明 田 香
中 山 小 学 校	平 井 智 子
伊 草 小 学 校	遠 山 千賀子
つばさ南小学校	友 光 優 紀
つばさ北小学校	福 島 陵 子
川 島 中 学 校	岡 部 恵
西 中 学 校	明 田 香
とねがわ幼稚園	石 川 友 美

スポーツ推進審議会委員

学 識 経 験 者	神 田 隆
	野 口 正 東
	北 原 章 男
	福 島 邦 男
	矢田堀 実 香
	岡 田 恵美子

文化財保護審議会委員

学識経験者	菊 池 建 太
	久保木 彰 一
	金 子 直 行
	馬 橋 泰 雄
	小 柏 典 華
	田 中 敦 子

文化財保護専門調査員

中 山	大 野 健 一
	佐 伯 和 男
伊 草	小 林 基 男
	伊 藤 道 男
三 保 谷	梶 野 晴 夫
	鈴 木 健
出 丸	加 藤 由 男
	谷 島 優
八 ツ 保	清 水 孝 夫
	馬 場 正 雄
小 見 野	高 橋 実
	松 崎 進

スポーツ推進委員

中 山	小 島 小百合
	岡 部 宏 之
	鈴 木 春 美
	相 笠 勇
伊 草	野 口 正 東
	芝 崎 孝 志
	清 治 里 臣
	小 西 緩 奈
三 保 谷	松 原 謙 司
	服 部 俊 幸
出 丸	瀬 間 義 昌
	小 林 哲 夫
八 ツ 保	松 本 和 也
	畠 山 巧
小 見 野	林 博 之
	神 田 巳智郎

その他関係団体

子ども会連絡協議会	遠 山 裕 太
-----------	---------

図書館協議会委員

学 校 教 育 関 係	小 学 校	大河原 早菜江
	中 学 校	向 後 正 隆
社 会 教 育 関 係	社 会 教 育 委 員	磯 真砂子
	公民館運営審議会委員	佐 藤 榮
学 識 経 験 者	学校ボランティア	野 口 美智子
家 庭 教 育 関 係	家庭教育ボランティア	小 林 紀 子

学校給食センター運営委員会委員

小 ・ 中 学 校 長 代 表	鈴木 和也
中山小学校 P T A 代 表	石 川 澄 香
伊草小学校 P T A 代 表	市ノ渡 美恵子
つばさ南小学校 P T A 代 表	山 田 一 志
つばさ北小学校 P T A 代 表	鈴 岡 香
川島中学校 P T A 代 表	茂 籠 麻奈美
西 中 学 校 P T A 代 表	斎 藤 智 子
校 医 代 表	榎 本 清 文
東 松 山 保 健 所 長	荒 井 和 子
識 見 者 （ 商 工 会 長 ）	尾 崎 宗 良
識見者（民生委員・児童委員協議会理事）	遠 山 昌 代
公 募 に よ る 町 民	永 島 智
町 食 育 担 当 者	中 澤 瑛莉香

生涯学習推進会議委員

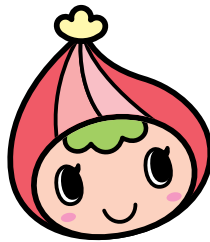
1 号委員	道祖土 証
	鹿 山 日出男
	鈴 木 和 也
	向 後 正 隆
	磯 真砂子
	菊 池 建 太
	神 田 隆
	尾 崎 宗 良
	明 田 香
	小 田 秀 春
	北 原 章 男
2 号委員	野 口 正 東
	倉 持 幸 子
3 号委員	遠 藤 克 弥
	飯 島 和 夫
	関 口 敬 氏
	磯 賢 司
	藤 間 隆

学校教育各種委員会委員

学校名等	学校教育推進員	就学支援委員	児童生徒体力向上推進委員
中山小学校	中村 真和	渡邊 一弘	田平 学
伊草小学校	高橋 昌史	○金子 美里 小浅 健子 稲毛 順子 若林 幸治	長谷部 貴則
つばさ南小学校	加納 真子	竹下 定子	◎山崎 清美 飯野 美彬
つばさ北小学校	○新井 雅代 中新 佳宏	清水 和音	小林 裕也
川島中学校	◎向後 正隆 山田 光	目時 和枝	横矢 勇志
西中学校	岩井 勇依奈	◎佐藤 香織 小川 美夏子 山田 ふみ	○佐野 公洋 梶田 伊穂理
子育て支援課 (子育て支援グループ)		友光 愛	
けやき保育園		津田 光子	
さくら保育園		茂木 久代	
清水こどもクリニック		専門医師 清水 勝則	
ハロークリニック		専門医師 新井 克己	
とねがわ幼稚園		学識経験者 柳澤 睦夫	
県立川島ひばりが丘 特別支援学校		学識経験者 梅木 史子	
県立川越 特別支援学校		学識経験者 角谷 舞	

◎委員長
○副委員長

川島町マスコット



かわみん



かわべえ

